

# わくわく田底っ子

第15号

文責：校長 益永 一幸

## 市一斉PTAあいさつ運動 ～ありがとうございました～



コミセン前横断歩道



旧農協前

2学期始業式の日、夏休みが終わって学校が再開し出会いを大切にしたいとても大事な日です。その日の朝に、熊本市PTA協議会による「一斉あいさつ運動」が行われました。田底小のあいさつ運動では、コミセン前横断歩道に9人とコミセン長の前田さん、旧農協前に13人のPTA役員の方々が立って、笑顔で子どもたちにあいさつをしていただきました。子どもたちにとって、地域や保護者の方々に見守られて登校しているという安心感につながったのではないかと思います。本当にありがとうございました。

「あいさつ」は、人と人を結ぶ最高のコミュニケーションです。漢字で書くと、「挨」には「心を開く」、「拶」には「接近する」という意味があり、「自分から心を開いて、相手に近づいていく」ことが「挨拶」ということです。

私は、あいさつには、児童・学校・地域を向上させる力があると思っています。「おはよう」「いただきます」「いってきます」「ありがとう」「ごめんなさい」「おやすみなさい」などのあいさつの習慣をこれからもっと大切にしていきたいと思っています。



### あいさつ

作：工藤直子  
(詩集「のはらうた」より)

さんぽを しながら  
ぼくは しっぽに よびかける  
「おおい げんきかあ」  
すると むこうの くさむらから  
しっぽが ハキハキ へんじをする  
「げんき びんびん！」  
ぼくは あんしんして  
さんぽをつづける



### 養護教諭による 保健指導

2学期最初に「身体測定」をしています。その際、養護教諭の関戸奈生子先生による保健指導も行っています。1・2年は「けがの手当て」、3・4年は「目を大切に」、5・6年は「すいみのひみつ」というテーマで、自分の健康について考える学習をしています。

